

平成30年度第2回滋賀県協会長杯中学生高校生ハンドボール大会
兼第14回春の全国中学生選手権大会滋賀県予選
兼第42回全国高等学校選抜大会滋賀県予選
実施要項

- 主催 滋賀県ハンドボール協会
 - 共催 近江八幡市教育委員会 東近江市教育委員会
 - 協賛 豊国商事(株)
 - 主管 滋賀県中学校体育連盟ハンドボール専門部 滋賀県高等学校体育連盟ハンドボール専門部
 - 期日 平成30年12月15日(土)・16日(日)・22日(土)・23日(日)・24日(月)・平成31年1月14日(月)
 - 会場 蒲生体育館(東近江市市子川原町679)、近江八幡市立運動公園体育館(近江八幡市津田)
 - 申込方法 (1)用紙 所定の用紙A4で1部提出
送り先 中学:中体連ハンドボール専門部委員長(彦根市甘呂町156 彦根市立南中学校内 島野友宏 宛)
高校:高体連ハンドボール専門部委員長(近江八幡市市井町177 近江兄弟社高校内 飯田一郎 宛)
(2)電子データ 所定の書式(入力フォーム)で作成したファイルをメール送信
送り先 滋賀県ハンドボール協会事務局(彦根工業高校内 尾田雄祐 宛 アドレス:ohandaball@gmail.com)
(3)締切期日 平成30年11月16日(金)17:00 (1)・(2)いずれについても必着のこと
(4)参加料 中学順位決定戦出場チーム 1チーム 2,000円 (12月15日会場にて徴収)
代表決定トーナメント出場チーム 1チーム 5,000円 (中1月14日、高12月22日会場にて徴収)
(但し、中学の代表決定トーナメントに勝ち進んだチームのみ3,000円を追加で支払うこととする)
8. 参加資格
- 中学生
- (1)平成30年度に滋賀県ハンドボール協会を通じて、申し込み締切日までに(公財)日本ハンドボール協会に登録したチームであること。
 - (2)チームは、中学校及び合同チーム、総合型地域スポーツクラブなどのクラブチームとする。
 - (3)各都道府県協会の承認を得たチームであること。
 - (4)選手は、平成16年4月2日～平成18年4月1日に生まれた者であること。
 - (5)選手は予め健康診断を受け、在学する学校長の承認を得ること。クラブチームの選手にあつては在学する学校長に届け出ること。
 - (6)選手は、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
- 高校生
- (1)選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
 - (2)各都道府県において(公財)日本ハンドボール協会に加盟登録された高等学校体育連盟加盟校の在籍生徒であること。
 - (3)選手は、平成30年4月以降該当学校に在学しており、平成12年4月2日以降の出生の者で、第3学年を除く。但し、特例として中国等帰国生徒については、年齢制限を適用しない。
 - (4)転校後6ヶ月未満の生徒の参加を認めない。(中国等帰国生徒もこれに準ずる)
但し、一家転住等の理由によりやむを得ない者は、都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。外国人留学生の参加については、大会登録選手20名のうち2名までとし、競技出場は7名中1名までとする。
 - (5)同一学年での出場は、一回限りとする。
 - (6)チームを編成する場合は、全日制課程の生徒と定時制課程の生徒との混成は認めない。
 - (7)出場する選手は予め健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする
 - (8)平成30年度に(公財)日本ハンドボール協会に登録されたチームとする。
- 《中学は春の全国中学生ハンドボール選手権大会要項に、高校は全国高等学校ハンドボール選抜大会要項に準ずる》
9. 試合規定 平成30年度 公益財団法人 日本ハンドボール協会競技規則による。ただし、試合時間は下表のとおりとする。
- | | | | | |
|----------------|------|----------|-----------|-----------|
| 中学生入れ替え戦 予選リーグ | 試合時間 | 10-5-10 | | |
| 順位決定戦 | 試合時間 | 20-5-20 | 延長は第1延長まで | 7MTC(3人制) |
| 中学生決勝トーナメント | 試合時間 | 25-10-25 | 延長は第1延長まで | 7MTC(5人制) |
| 高校順位決定トーナメント | 試合時間 | 25-10-25 | 延長は第1延長まで | 7MTC(5人制) |
| 高校決勝戦 | 試合時間 | 30-10-30 | 延長は第2延長まで | 7MTC(5人制) |
10. 試合方法及び表彰 (1)試合方法はトーナメントにより1位を決定する。尚、中学生は3位決定戦を行わず両チーム3位とする。高校生は3位決定戦を行う。
(2)第1位に表彰状・記念品、第2位・第3位に表彰状を授与する。
(3)優秀選手(ベスト7)を選考し、表彰状を授与する。
11. 参加人員 中学は春の全国中学生選手権大会の要項通り、1チームの人員は、役員4名・選手15名とする。
高校は全国高等学校選抜大会の要項通り、1チームの人員は、役員4名(監督1名、役員3名、うち引率責任者含む。また、生徒役員は2名までとする。)、選手20名(16名出場可)とする。
ベンチ入りに際して役員及び選手は、日本ハンドボール協会に登録され、大会申込書及びプログラムに記載された者であること。
なおかつ日本協会登録証を持っていることとする。
12. 開会式 (1)高校生のみ平成30年12月22日(土)に実施する。
閉会式 (2)高校生は平成30年12月24日(火)に、中学生は平成31年1月14日(月)にいずれも最終戦終了後試合会場で行う。
最終日に出場したチームは必ず参加すること。
13. 抽選 高校は平成30年10月27日(土)高体連秋季総体最終日大会終了後の顧問会議で行う。
14. 試合球 公益財団法人 日本ハンドボール協会検定球(カラー人工皮革球)
15. その他 (1)秋季総体にてシード権を得たチームが本大会に参加しない場合は、①シードを繰り上げ②残りのシードを抽選とする。
(2)各会場の駐車スペースには限りがあり、近隣の迷惑とならないようにマナーを遵守すること。
(3)競技中の負傷は応急処置はするが、それ以外の責任は負わない。
(4)体育館内の松ヤニ・粘着スプレーの使用は禁止。両面テープのみ可。
(5)各体育館の開館時間は、右の通り。蒲生<<8:30>> 近江八幡<<8:15>>
(6)各試合前に、役員及び選手は、日本協会登録証を提示すること。
(7)本大会において裁定委員会を設置する。